

【静岡県賀茂郡河津町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

河津町の児童生徒一人一人がそれぞれに合った「学び」を実現し、それぞれの特性に合った積極的な個別学習の充実を図っていく。

2. GIGA第1期の総括

GIGA第1期では、令和2年度に1人1台端末を導入し活用を行ってきた。ドリルのアプリケーションを利用した学習が可能であり、児童生徒については、持ち帰りでの家庭学習を行ったり児童生徒と教員のやり取りの場でも活用を行っている。しかしながら、家庭での利用頻度については、差があることが感じられる。

また、端末機器の不安定な部分と使用する教職員の理解力や活用力にバラつきがあり、学級ごとのICT教育にも影響がある。

GIGA第2期に向けICT支援を導入し、ICTを活用した指導法改善や校務改善について向上を図っていく。

3. 1人1台端末の利活用方策

児童生徒一人一人の「学び」を実現するため、ドリルのアプリケーションや協働学習アプリを活用する。また、教職員のICT教育向上を図るため企業派遣型のICT支援を進めていく。

児童生徒がそれぞれの特性に合った理解度・進度の学習をデジタル教材の活用を行い図っていく。

不登校支援については、1人1台端末の活用によって児童生徒と先生の間で教育相談や学習支援を行うことができ、それぞれの児童生徒に見合った学習機会の確保、定着が図られる。

端末の整備・更新により、児童生徒向けの1人1台端末環境を維持していくため、次のとおり利活用指標及び目標を目指す。

【1人1台端末の利活用指標及び目標】

項目	評価の指標（KPI）	目標値
1人1台端末の積極的な活用	毎年度ICT研修を受講する教員の率	100%（R6）
	情報通信技術支援員（ICT支援員）の配置	2校/人（R7）
	1人1台端末を週3回以上活用する学校の率	100%（R6）
	デジタル教科書を実践的に活用している学校の率	100%（R10）
個別最適・協働的な学びの充実	児童生徒が自分で調べる場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	100%（R6）
	児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	100%（R8）
	教職員と児童生徒がやりとりする場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	100%（R8）
	児童生徒同士がやりとりする場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	100%（R8）
	児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	100%（R8）
学びの保障	希望する不登校児童生徒へ端末を活用した授業への参加・視聴の機会を提供している学校の率	100%（R8）
	希望する児童生徒への端末を活用した教育相談を実施している学校の率	100%（R8）
	外国人児童生徒に対する学習活動等の支援に端末を活用している学校の率	100%（R8）
	障害のある児童生徒や病気療養児等、特別な支援を要する児童生徒の実態に応じて端末を活用した支援を実施している学校の率	100%（R8）